

# 畜産ニュース

## ○豚コレラ県南に発生

豚コレラが県南部で散発している。豚コレラは2月に児島市で発生した後、3月16日倉敷市青江で2頭、同22日に同市四十瀬で4頭発生し、それぞれ殺処分されているが、4月に入り12日、13日に玉島市黒崎に10頭発生し、へい死および殺処分されている。県畜産課では、豚コレラの予防注射の徹底と衛生的な管理を行なうよう望んでいるが、これまでの伝染経路の調査から、豚商人によって病原体がばら播かれた疑いもあるので、これらの点や豚の移動には特に注意が必要とされている。畜産課では関係業者や飼育家の防疫処置への協力を特に望んでいる。

## ○酪農連会長に惣津氏

県酪連では3月28日岡山市東田町の県農業会館で通常総会を開き、荒木栄悦前会長の退任および新理事に惣津律士氏（前県酪農大学校長・現県畜産会長）を推すことを承認、同日午後の役員会において惣津氏を4月1日付けで会長常勤に推すことを決めた。

## ○第1回農業学会発表会

岡山県農業学会はさる4月20日、県下の農業関係試験研究機関、団体等を中心に農業技術者が参加して結成されたが、その第1回の発表会として、同日午後2時から岡山市東田町の県農業会館・県産業会館で開かれた。発表は作物・畜産・園芸・農業経営経済の4部門に分かれて行なわれ、これにさきだつて特別発表として岡山大学の大倉教授の「集団育種の2、3の点について」、同永友教授の「わが国における食生活革命と農業発展の方向」の講演が行なわれた。

畜産部会は午後3時20分から産業会館4階で「イタリヤンライグラスの高位生産性と施肥料について」（和気普及所、田淵真一）ほか7題の発表が行なわれた。

## ○農林省安定基準価格決まる

農林省は38年度の畜産物安定価格決定のため、さきに3月22日畜産物価格審議会に留意事項を諮問、3月27日付けの同審議会からの答申を受け、検討を行なった結果、3月30日原料乳、指定乳製品及び指定食肉（豚枝肉）についての価格を決め、つぎのように告示した。

### 1、原料乳の安定基準価格

1キログラム 28.27円

### 2、指定乳製品の安定下位価格及び安定上位価格

種類	単位	安定下位価格	安定上位価格
バター	キログラム 1	円 478	円 600
脱脂粉乳	12.5	3,300	4,350
全脂加糖れん乳	24.5	3,900	4,700
脱脂加糖れん乳	25.5	3,400	4,100

種類および単位	中央卸売市場の所在する地域	安定基準価格	安定上位価格
豚肉 1キログラム	大宮市	円 260	円 340
	横浜市	260	340
	名古屋市	260	340
	大阪市	240	310
	広島市	235	305
	福岡市	235	305

岡山畜産便り 1963.04

3、指定食肉の安定基準価格及び安定上位価格

(注)

1、原料乳の安定基準価格は、乳脂肪分 3.2 パーセントのものについて、原料乳の生産者が原料乳を乳業者に販売する場合の工場渡し価格。指定乳製品の安定上位価格および安定下位価格は、指定乳製品生産者販売の倉庫渡し価格。

2、豚の安定基準価格および安定上位価格は、大宮、横浜および名古屋市は皮はぎ法、大阪、広島および福岡市は湯はぎ法により整形した豚肉（法に定める豚半丸枝肉）の価格。

◎県営食肉市場で畜魂祭

岡山市網浜の県営食肉市場で3月23日午後3時から畜魂祭が行なわれた。式には祭主の山下県農林部長はじめ、県食肉荷受KK、食肉環境衛生同業組合、食肉売参人、畜産荷受販売同業組合、加工食肉荷受販売協組および市場作業員代表など約50名が参列し、祭主のあいさつ、通力寺の浦田孝順師の読経、つづいて出席者の焼香が行なわれ、市場内と畜場でこの1ヵ年間に人間のために命を捧げた、2万余に及び牛・豚などの霊を厳肅に弔った。

県下の種鶏業者およびふ卵業者

県畜産課調べによる38年2月1日現在の種鶏業者数および、種鶏羽数は別表のとおりで、1戸当り300羽以下の飼育が80%を占めており、種鶏品種別では白レグが67%を占めている。

(別表)

経営規模別種鶏業者羽数 (38.2.1)

	100羽以下	100～200	201～300	301～500	501～1,000	1,000以上	計
種鶏業者数	309	482	190	149	88	46	1,264

種 鶏 羽 数 (単位：羽)

品種	白レグ	横 斑 ロック	ロード	ニュー ハンブ	コーニ ツシュ	一代 雑種	その他	計
羽数	261,150	30,475	22,047	11,261	2,484	2,151	19,617	349,185